自作資料で道徳授業

ジレンマ的な状況を「納得と合意」で折り合いをつけ解決する態度を学ぶ

よし子の計画（ジレンマ的資料）～根気・努力1-(3)

老人ホーム訪問の準備のためゲームを作っているよし子は、前日でも間に合いそうにない。そこに、先月転校していった道子がなやみを抱えて訪ねて来た。よし子は、訪問のための製作を続けるか、道子につき合って悩みを聞いたり遊んだりするか迷う。どちらの人にとっても自分が元気・健康のもとであると自覚するよし子はどうすべきか？

導入 資料を読み、選択し、理由を書く (10)

・状況の確認　・課題の提示、選択、根拠の記述

展開 考えを発表し、検討する (25)

友情
- 学校でさびしい思いをしているから
- 友達として自分を頼ってきたから
- 大のなかよしなのだから当たり前

約束
- いつでもいいと自分から言っていた
- 約束は守るべきだ

状況的
- 今日しかない
- ゲームはほぼOk

製作を続ける →

← 道子につき合う

根気・努力
- 班で決めためあて最後までやるべき
- 一度決めたこと

思いやり
- お年よりの笑顔を見たい

状況的
- 訪問は今回だけ
- 一人→多数の幸せ
- 楽しみ
- 話せば分かる

終末 もう一度行動を選択し、感想を発表する (10)

行動は状況とその根拠によって様々。納得と合意が大切だね